



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(6月19日時点)

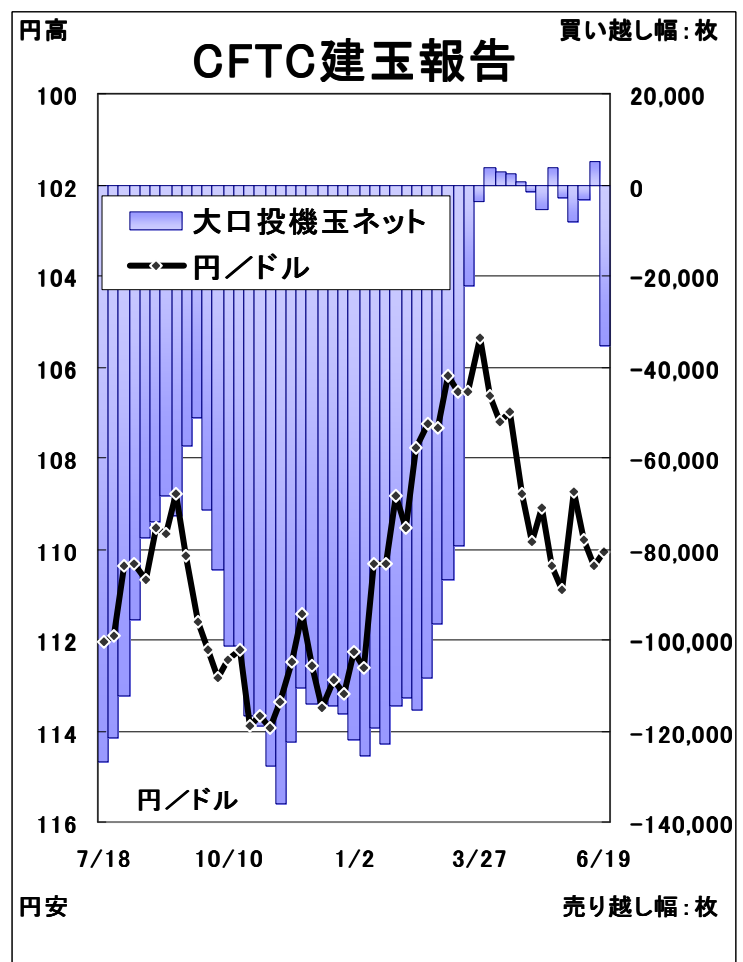
米商品先物取引委員会(CFTC)が6月22日に発表した建玉報告によると、19日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)は前週の買い越しから売り越しに転じ、売越幅は3万5562枚となった。投機筋は買いポジションを減らし、売りポジションを増やした。

期間中の円(対ドル)は上伸。米連邦準備制度理事会(FRB)は13日、今年2回目の利上げを決めた。好景気を背景に、今年の想定利上げペースは従来の計3回から4回に加速した。一方で、日銀は15日に日銀の金融政策の現状維持を決定。日米における金利差拡大や、12日に開催された米朝首脳会談は文書への双方署名によって北朝鮮の非核化が共同宣言されたことで地政学リスクの後退が意識されたことで、円売りドル買いが一時進行。しかし、米国が中国からの総額500億ドルに上る知的財産権およびハイテクに関連する製品に対し25%の輸入関税を7月6日よりかけると明らかにし、これに対し中国も同等規模の措置を導入すると発表。両国間の応酬を背景に安全資産としての円が買われ、円高ドル安が進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機玉の買越幅は3万6118枚となり、前週比5万2107枚縮小。

14日の欧州中央銀行(ECB)理事会で、早ければ2019年夏にも、8年ぶりとなる利上げに踏み切る可能性が示され、異例の金融緩和からの脱却に具体的な道筋が付けられたが、市場の織り込みでは2019年6月にはECBが利上げに着手すると見られていたが、今回の理事会を受けて3カ月以上後ずれした形となった。加えて欧州の政治不安もある状況下、市場でのユーロ売りを呼び、結果的にユーロ売りドル買いが活発化した。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
02/20	107.24	-108,338	1.2336	126,126
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
03/27	105.38	-3,668	1.2401	141,064
04/03	106.62	3,572	1.2268	134,381
04/10	107.19	2,761	1.2352	147,463
04/17	107.01	2,591	1.2373	151,476
04/24	108.81	583	1.2231	130,594
05/01	109.85	-1,405	1.1991	120,568
05/08	109.12	-5,462	1.1864	120,505
05/15	110.36	3,680	1.1837	115,114
05/22	110.91	-2,767	1.1777	109,744
05/29	108.75	-8,036	1.1535	93,037
06/05	109.79	-3,437	1.1715	89,236
06/12	110.38	5,052	1.1744	88,225
06/19	110.08	-35,562	1.1588	36,118
前週比	-0.30	-40,614	-0.0156	-52,107



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。